

	号外	定価 1部2円	東日本大震災から 13年。災害時にし っかり対応できる 職員体制の整備を 求め、全職員で改 善を求めよう！
	昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合	

2024春闘一② 3.7 24春闘・県職労人事課長交渉

県本部統一 県職労独自 春闘要求書提出

最下位水準の初任給格付改善 強く求める

来年度人事異動内示前倒し

3月7日、県職労は2024春闘要求書（157項目）を内城人事課総括課長に提出し、来年度の人員配置、会計年度任用職員課題をはじめ安心して働ける職場環境改善等に関し交渉を行った。

【交渉結果】①来年度の人員配置は「新採用は110人程度。専門職は、土木職や獣医師などは採用予定数の確保に至っていない」、「秋の交渉では20人程度の増員としていたが、定年引上げ対象職員の退職者が大幅に増えたことにより、欠員は本年度と同程度（9人）の見込み」であることが示された。



春闘要求書手交



回答を求める県職労交渉団

②賃金改善では、初任給格付けの改善は人員確保の面でも影響が大きいことを訴え、若手も高齢層も意欲を持って働けるような賃金改善を求めた。

③人事異動に関しては、来年度の人事異動内示のスケジュール前倒しと着任7日間の保障と早期着任の強要をさせないことを強く求めた。

上記のほか、超勤予算の確保状況、子等の看護休暇の日数拡充、会計年度任用職員の任用課題について見解を質し、改善を強く求めた。

会計年度任用職員 期末勤勉手当の在職期間通算要件改善へ

1週間当たりの勤務日数及び勤務時間数が異なれば、同じ職場、同じ業務であっても在職期間を通算できない運用となっているため、来年度から勤務時間を短縮し継続任用される会計年度任用職員にとって不利益が生じるとの報告を受け、運用改善を求めていたもの。これに対し人事課は、「本人都合でない勤務時間の変更については、全て公務都合として、期末・勤勉手当の通算を認める」と改善を示した。

勤務間インターバル制度 試行導入へ

当局は、職員の健康配慮を目的として、勤務間インターバル制度を4月から試行実施したいと提案した。県職労から、4月試行開始では、制度内容等の十分な周知ができず職場の混乱が増すとして、運用開始時期の見直しを求め、人事課が庶務担当者等に配慮して6月から開始することを了承した。制度の概要は次のとおり。

第1 目的

職員の健康の維持・増進の観点から、勤務間の休息時間を確保するため、インターバル時間を確保できない超過勤務は原則行わないこととし、やむを得ず、インターバル時間を確保できない超過勤務を行わせる場合は、インターバル時間を確保できるように、あらかじめ定められた勤務時間を割振ることとするもの。

第2 対象者

交代制勤務の職員、技能労務職員、会計年度任用職員を除く全職員を対象とすること。

第3 勤務間インターバル制度について

- (1) インターバル時間 インターバル時間は、11時間とする。
- (2) 勤務時間の割振り

次の表の中から、勤務終了時刻に応じ、インターバル時間が経過した後の直近の区分を割り振るものとする。

区分	勤務時間	休憩時間
インターバル勤務A(※1)	8時 から16時45分まで	12時から13時まで で (45分休憩も可)
インターバル勤務B(※1)	8時30分から17時15分まで	
インターバル勤務C	9時 から17時45分まで	
インターバル勤務勤務D	9時30分から18時15分まで	

(※1) 時差通勤又は早出遅出勤務制度により、勤務開始時間を8時30分以前としている場合に使用

(3) 適用除外

- (ア) 業務の都合上やむを得ない場合
- (イ) 家庭の都合等により本人から申し出があった場合

北上市議選 『平野あきのり』 市民のため頑張る決意 県本部組織内

＝ 3月17日告示・24日投開票 ＝

県職労は、3月17日告示・24日投開票の北上市議会議員選挙において、「平野あきのり」(56歳・立憲民主党公認・現2期・自治労岩手県本部組織内(北上市職労出身))を推薦決定し、同氏の必勝に向けて組合員等への支持浸透に全力を挙げる。

組合員の皆さんの知人・友人に支持・支援の輪を広げ、3期目必勝に向けて全力を挙げよう！

